

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行
2021年3月期
中間決算説明会

2020年11月10日(火)

- I .2021年3月期中間決算について
- II .2021年3月期の見通し及び戦略

I .2021年3月期中間決算について

< 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

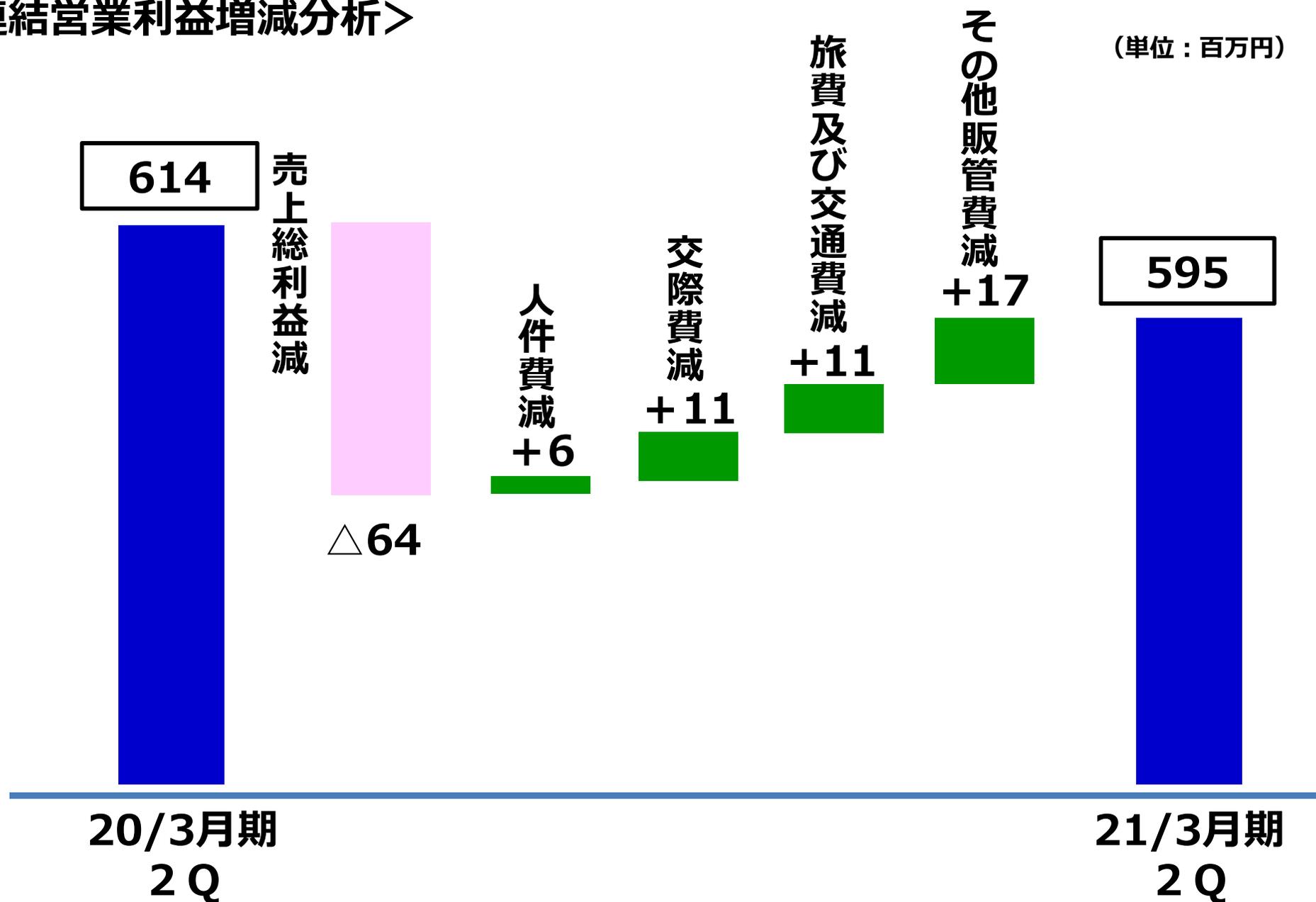
	20/3月期 2Q	21/3月期 2Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	12,169	12,194	0.2%	・コロナの影響を受け、国内販売は前年比マイナス ・中国のスマホ向け得意先への販売は好調
営 業 利 益	614	595	△3.1%	・売上総利益率が、0.5P減少 ・販管費は前期比△3.9%
営 業 利 益 率	5.1%	4.9%	△0.2P	
経 常 利 益	677	673	△0.6%	
経 常 利 益 率	5.6%	5.5%	△0.1P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	462	470	1.8%	
四半期純利益率	3.8%	3.9%	+0.1P	

Point !

- 連結売上は前期と同水準で推移。
 ➡ 国内売上は前年比マイナス、海外売上は前年比プラス

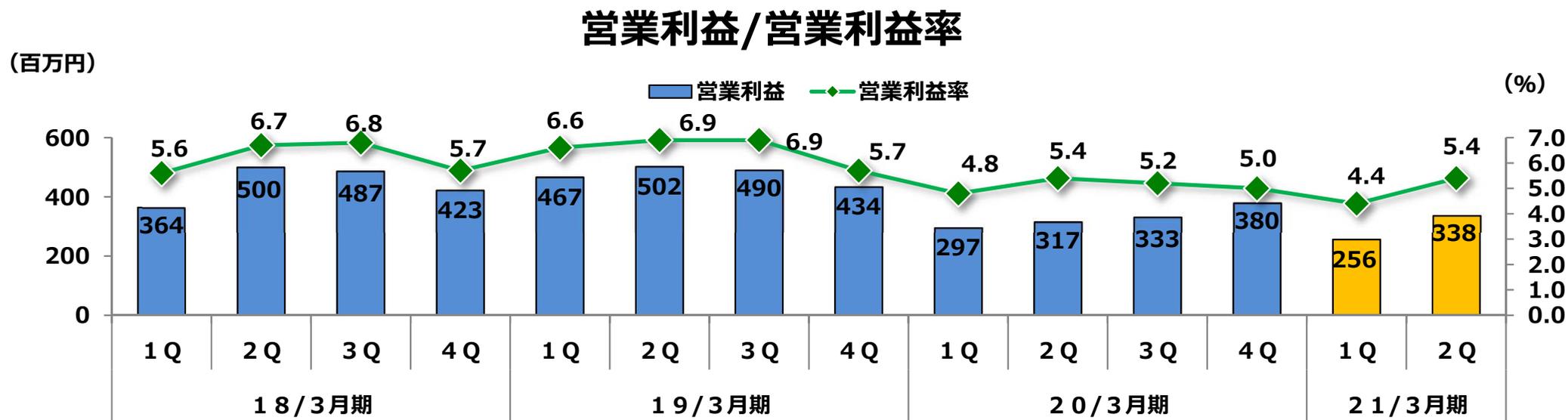
<連結営業利益増減分析>

(単位：百万円)



※数値は百万円未満を切り捨てて表記しております。

<四半期毎の連結売上高・営業利益の推移>

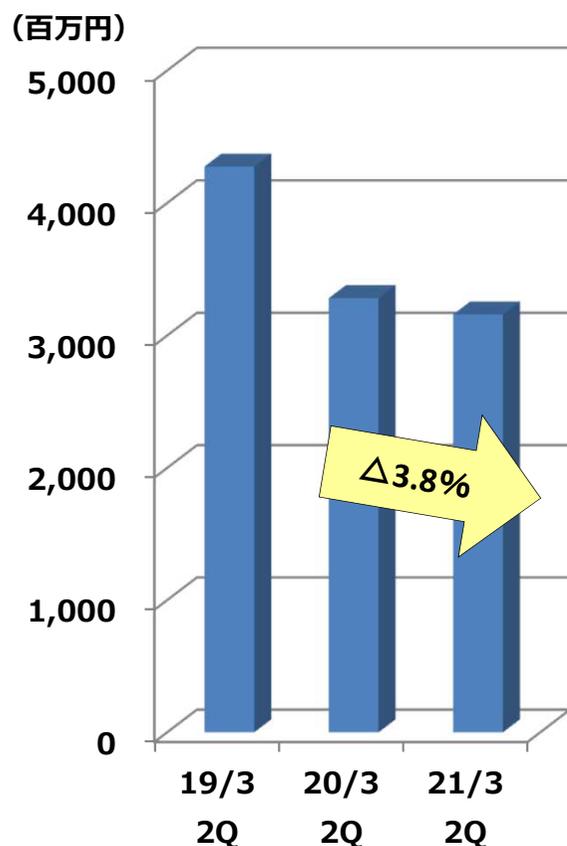


Point !

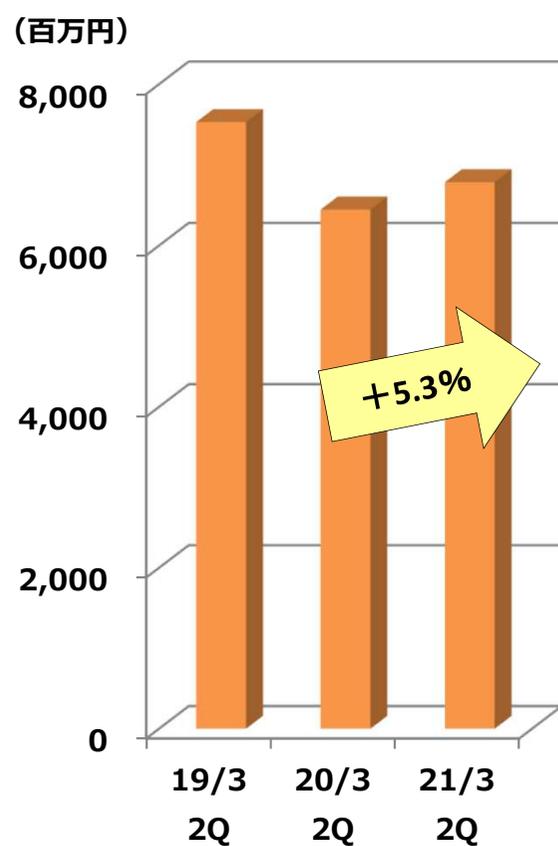
- 新型コロナウイルス感染症の影響あったが、昨年と同ペースで推移

<部門別売上高推移（連結）>

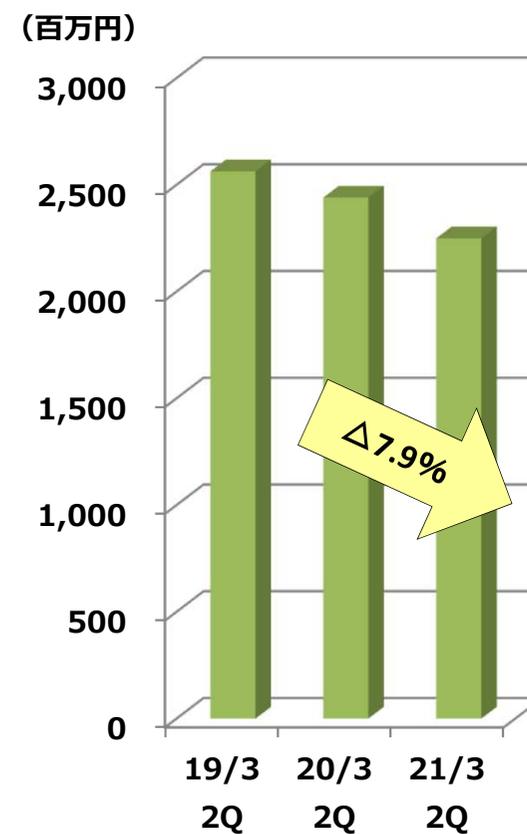
制御機器



F A 機器



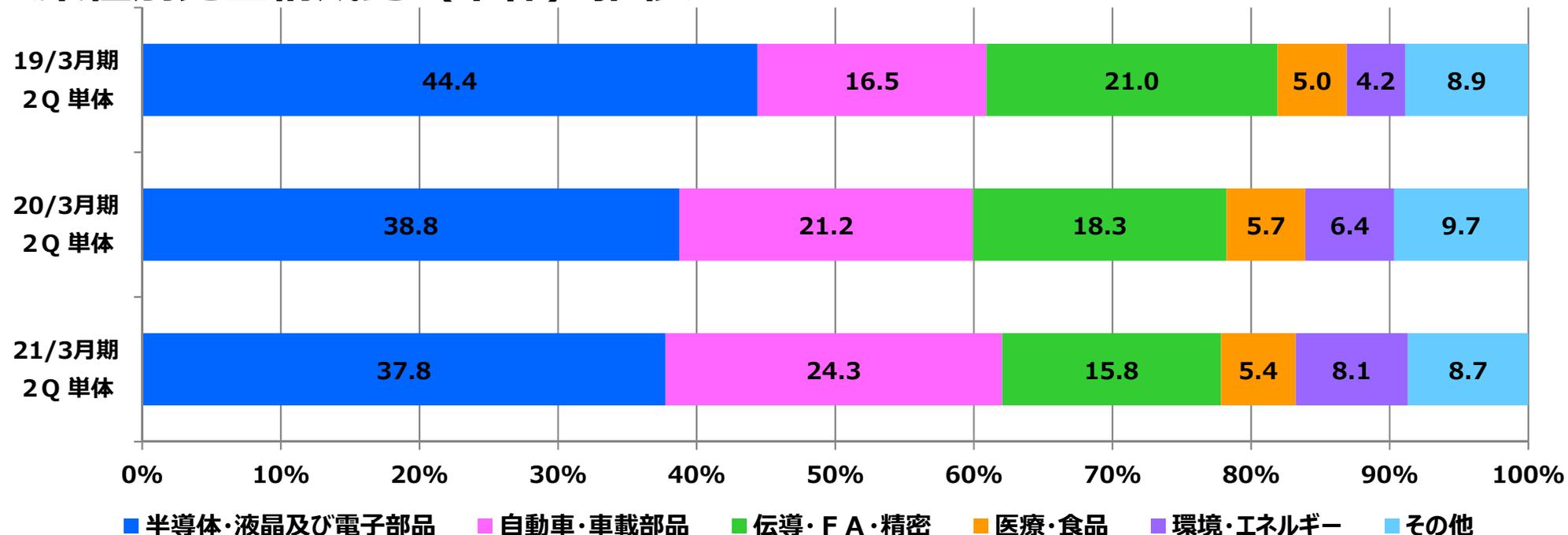
産業機器



Point !

- 【制御機器】・半導体及び半導体製造装置関連は増加、OA機器や工作機械関連は減少
- 【F A 機器】・国内の自動車・車載部品の一部得意先からの装置関連の販売増加
・中国ではスマホ向けの電子部品関連の得意先への販売が好調に推移
- 【産業機器】・半導体に関連する得意先へろ過フィルターの販売は増加したものの、コロナによる設備投資減速の影響を受ける

<業種別売上構成比（単体）推移>



Point !

<半導体・液晶及び電子部品>

半導体市場は活性化してきており、受注は回復しつつある（△1 P）

<自動車・車載部品>

自動車・車載部品関連の一部得意先からの装置関連の案件がありシェア拡大（+3.1 P）

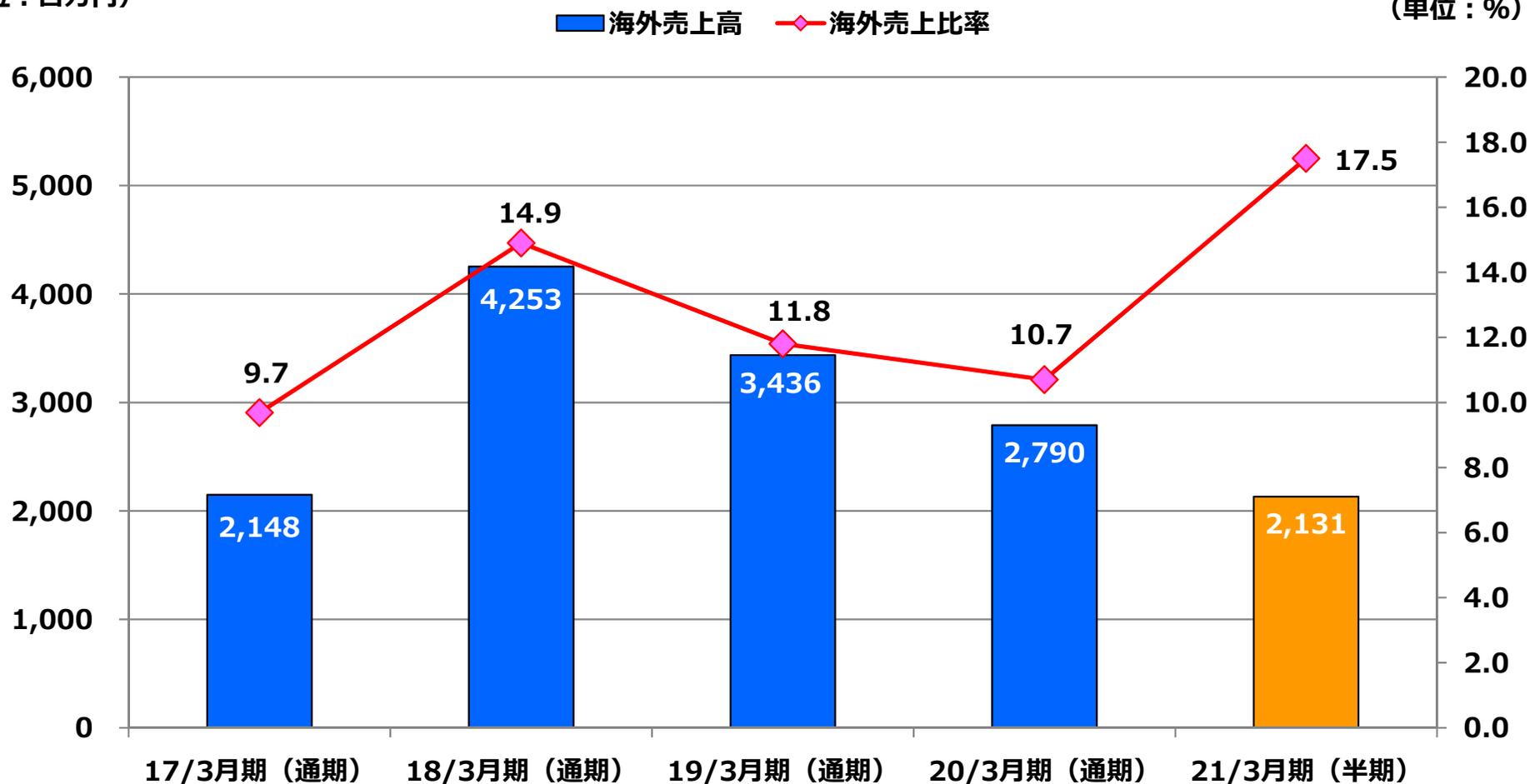
<伝導・F A・精密>

工作機械関連やOA機器関連得意先からの受注が減少しシェア縮小（△2.5 P）

<海外売上高・海外売上比率（連結）>

（単位：百万円）

（単位：％）



Point !

- 中国経済はコロナ禍からの正常化が早く進んでおり、鳥羽（上海）貿易有限公司の売上高が大きく伸びたことが主因

<連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	20/3月末	構成比 (%)	20/9月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,896	78.8	19,355	75.9	
現金・預金	9,742	36.7	9,614	37.7	
受取手形・売掛金 ※1	10,999	41.5	9,579	37.6	
商品	109	0.4	121	0.5	
固定資産	5,623	21.2	6,141	24.1	
資産合計	26,520	100.0	25,496	100.0	
流動負債	8,690	32.8	7,279	28.6	
支払手形・買掛金 ※2	8,093	30.5	6,471	25.4	
固定負債	320	1.2	449	1.8	
負債合計	9,010	34.0	7,729	30.3	
純資産合計	17,509	66.0	17,766	69.7	
負債純資産合計	26,520	100.0	25,496	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

Point !

- 構成比に大きな変化はございません。

＜2021年3月期 2Q 連結キャッシュ・フロー計算書の概要＞

(単位：百万円)

	20/3月期 中間	21/3月期 中間	キャッシュ・フローの状況
営業活動によるC F	673	166	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益の計上 (+671百万円) ・売上債権の減少 (+1,387百万円) ・仕入債務の減少 (△1,611百万円) ・法人税等の支払 (△253百万円)
投資活動によるC F	△518	△578	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の預入 (△500百万円)
財務活動によるC F	△519	△212	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金 (+308百万円) ・配当金の支払 (△519百万円)
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△13	△4	
現金及び現金同等物 の増減額	△378	△628	
現金及び現金同等物 の期首残高	10,211	9,742	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	9,833	9,114	

Ⅱ． 2021年3月期の見通し及び戦略

<2021年3月期の業績予想>

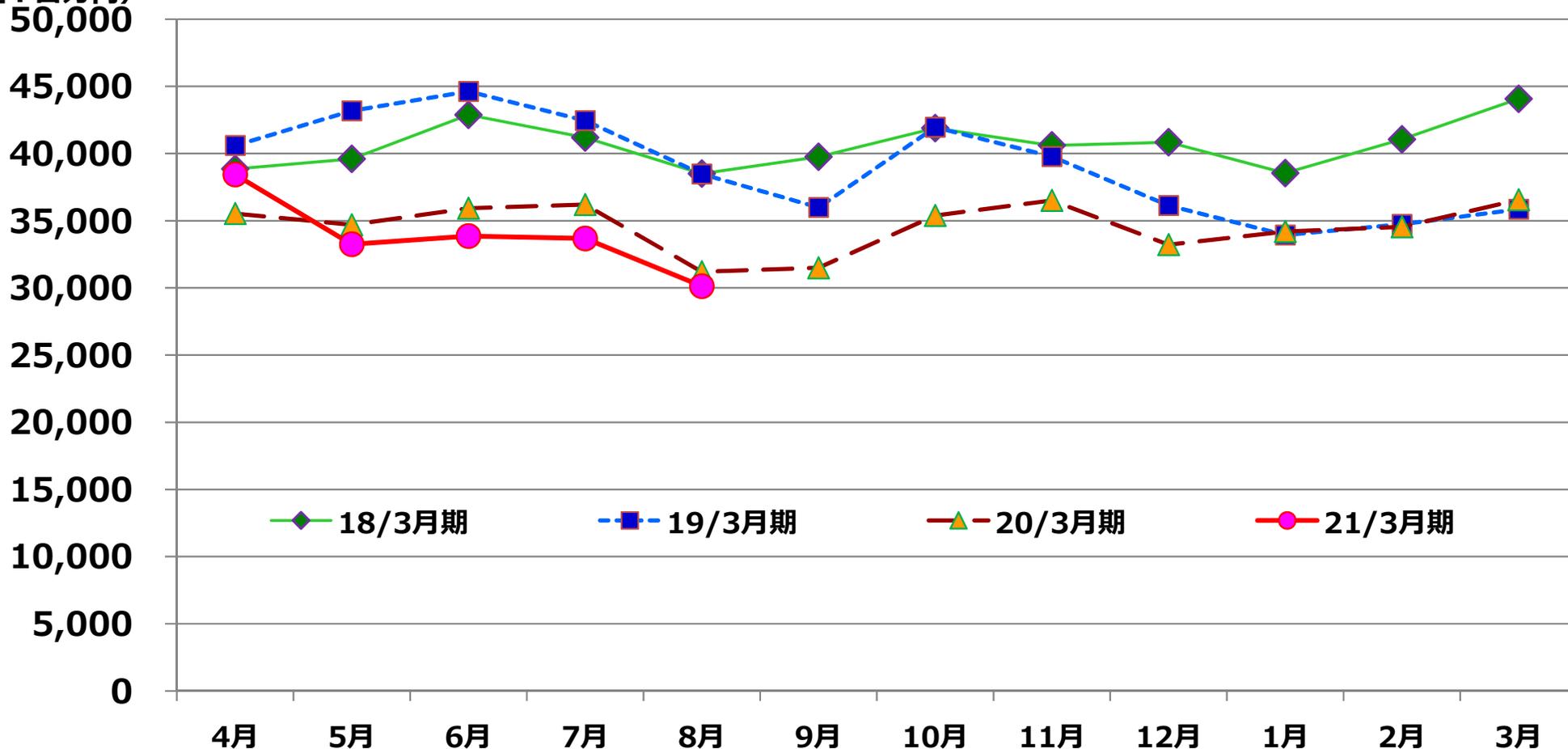
(単位：百万円)

	20/3月期 (実績)	21/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	26,197	25,000	△4.6%
営業利益	1,328	1,200	△9.7%
営業利益率	5.1%	4.8%	△0.3 P
経常利益	1,435	1,290	△10.1%
経常利益率	5.5%	5.2%	△0.3 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	972	870	△10.5%
当期純利益率	3.7%	3.5%	△0.2 P

※2020年8月7日に業績予想を発表しました。

<空気圧機器月次出荷金額推移 (ご参考) >

(単位：百万円)



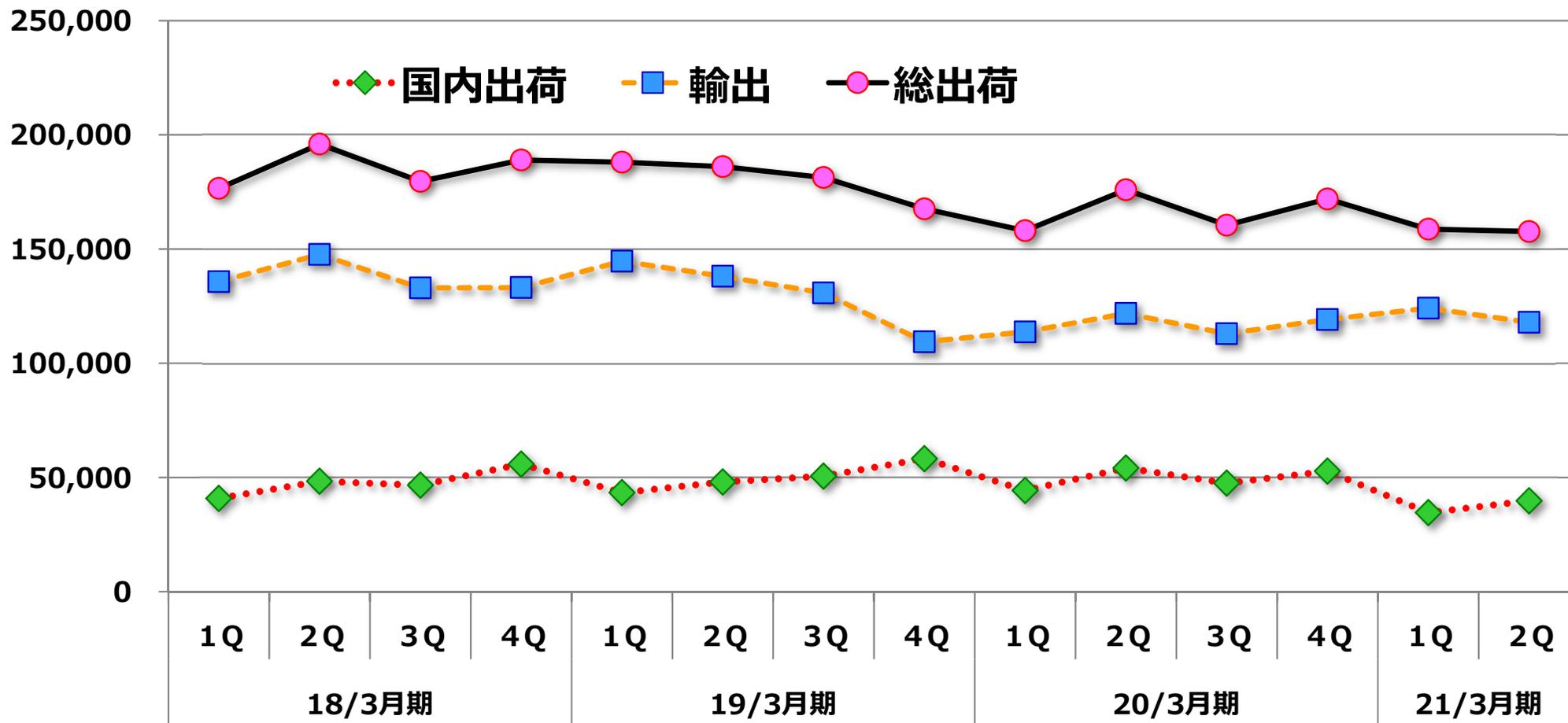
(出典) 日本フルードパワー工業会

Point !

- 好調だった18/3期・19/3期、さらに前期20/3期よりも下回って推移している

<マニピュレータ、ロボットの出荷額推移 (ご参考) >

(単位：百万円)



(出典) 日本ロボット工業会

Point !

- 世界経済の減速により産業用ロボットの出荷額は、下降傾向にあったが、下期からの上昇に期待

◆国内の市場環境

<現況>

- ▶ 新型コロナウイルスの影響により景況感悪化し、設備投資は消極的に推移している

<各カテゴリーの今後の見通し>

▶ 自動車・車載部品関連

世界的な自動車の出荷台数の減少が続いていたが、7-9月より回復傾向に転じており
今後の設備投資は底堅く推移すると予想

▶ 半導体及び半導体・液晶製造装置関連

テレワークの推進によるクラウド化など、データセンターへの投資が回復してきており、
設備投資は好調に推移するものと予想

▶ 次世代通信システム関連

「5G」のサービス開始に伴い、設備投資は増加してくるものと予想

◆海外の市場環境

<現況>

- ▶ 米中対立の激化など不安材料が多々あり、加えて新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界経済全体の大きな減速が続いている

<今後の見通し>

- ▶ 中国国内の内需型企業の設備投資は堅調に推移するものと予想
- ▶ スマートフォンの中国国内の需要は堅調に推移しており、「5G」向けを含め設備投資が始まり、今後も増加していくものと予想
- ▶ 中国の自動車産業は昨年度より出荷数が減少し、新型コロナウイルスの影響による買い控えも発生している。総じて設備投資は低迷に推移していたが、政府による「補助金政策」等により回復へ転じている

<コロナ禍の制限下における当社の営業体制について>

● コロナ禍前の営業

- ・ “Face to Face ”の「対面営業」による営業活動

● 「緊急事態宣言」発出中の営業（抜粋）

- ・ 顧客からの訪問自粛要請
- ・ 出張禁止、交代勤務体制など
- ・ 顧客は生産活動を維持



- ◆ 開発営業活動が停滞
- ◆ 受注・納入活動は継続

● 「緊急事態宣言」解除後の営業（抜粋）

- ・ タブレット端末の活用
- ・ Web会議システムの利用
- ・ 「訪問営業」「出張」等の一部再開



- ◆ “With コロナ”の営業活動

<今期の戦略>

◆既存得意先への拡販と新規得意先の開拓

- ・当社**主要得意先**である半導体・液晶製造装置、電子部品関連及び自動車・車載部品等への設備投資需要の取り込み
- ・**三品業界**など自動化が進んでいない得意先への、F A 機器の販売を積極的に展開
- ・「**5G**」及び「**CASE**」に関連する得意先の潜在需要の取り込み（新規開拓）
- ・**装置・システム案件**の更なる拡販
※単品販売から製造業の自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販
- ・将来を見据えた**Eビジネス**の確立（取り扱い商品を拡充など）

◆新商材の発掘・深耕

- ・ユニバーサルロボットの正規代理店となり、協働ロボットの拡充を図る

◆海外拠点強化

- ・海外子会社との連携強化（情報共有し当社販売網の活用）

< “ユニバーサルロボット”の正規代理店 >

◆2020年7月よりユニバーサルロボットの正規代理店となり取り扱いを開始しました。

▶ “ユニバーサルロボット”とは

・デンマークに拠点を置く「協働ロボット」世界シェアNo.1メーカーです。

▶ “ユニバーサルロボット”製品の特長

- ①簡単なプログラミング
- ②迅速なセットアップ
- ③高い安全性と協働性
- ④高い柔軟性

< 協働ロボットについて >

▶ “協働ロボット”とは

・読んで字のごとく「人と協力して働くロボット」を言います。これまでは人手だけで作業が行われていた製造ラインに、人の代わりにロボットが入り、作業を行います。

・従来の産業用ロボットは、出力が非常に大きいものが多く、安全上、人間とは物理的に隔離した状態（安全柵の設置等）で作業を行わせる必要があります。協働ロボットは従来の産業用ロボットと比較した場合、小型、軽量に作られており、省スペースで運用が可能となっている。

▶ “協働ロボット”の市場

・協働ロボットの世界市場は2026年に8,000億円以上と言われている。



➤ 『TOBA, INC. (VIETNAM) CO., LTD』設立

商 号： TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD

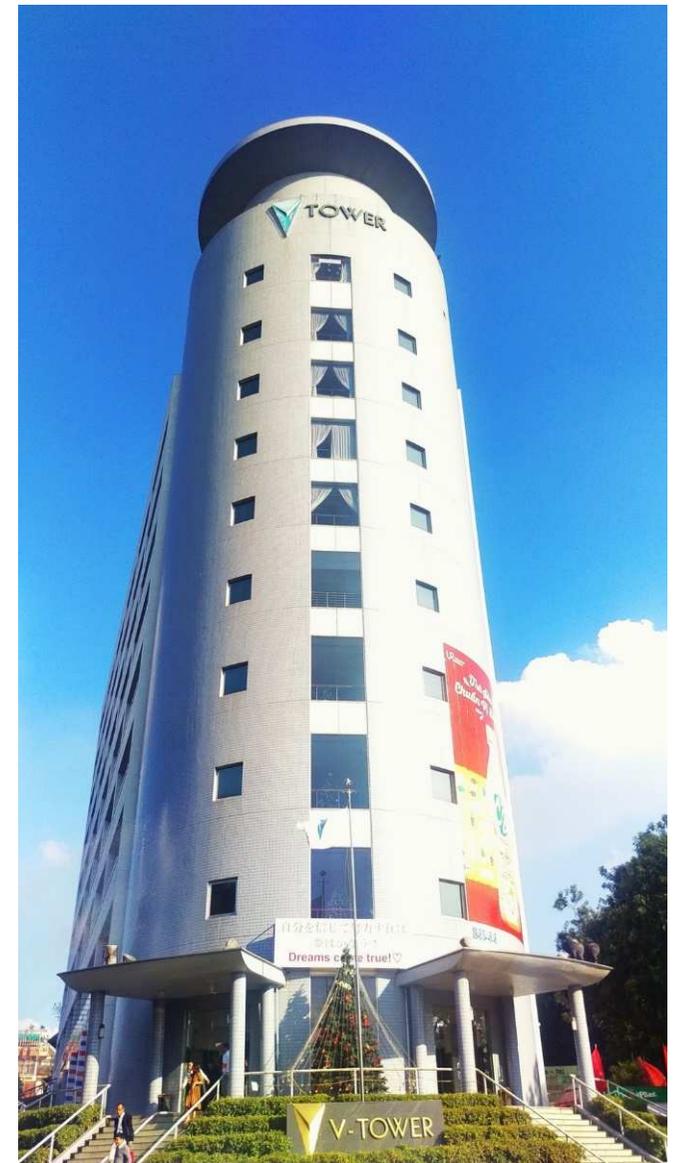
代 表 者： 上ノ原 周作

所 在 地： Office No.Unit501-B, 5th floor
V-Tower, 649Kim Ma Street,
Ngoc Khanh Ward, Ba Dinh
District, Hanoi

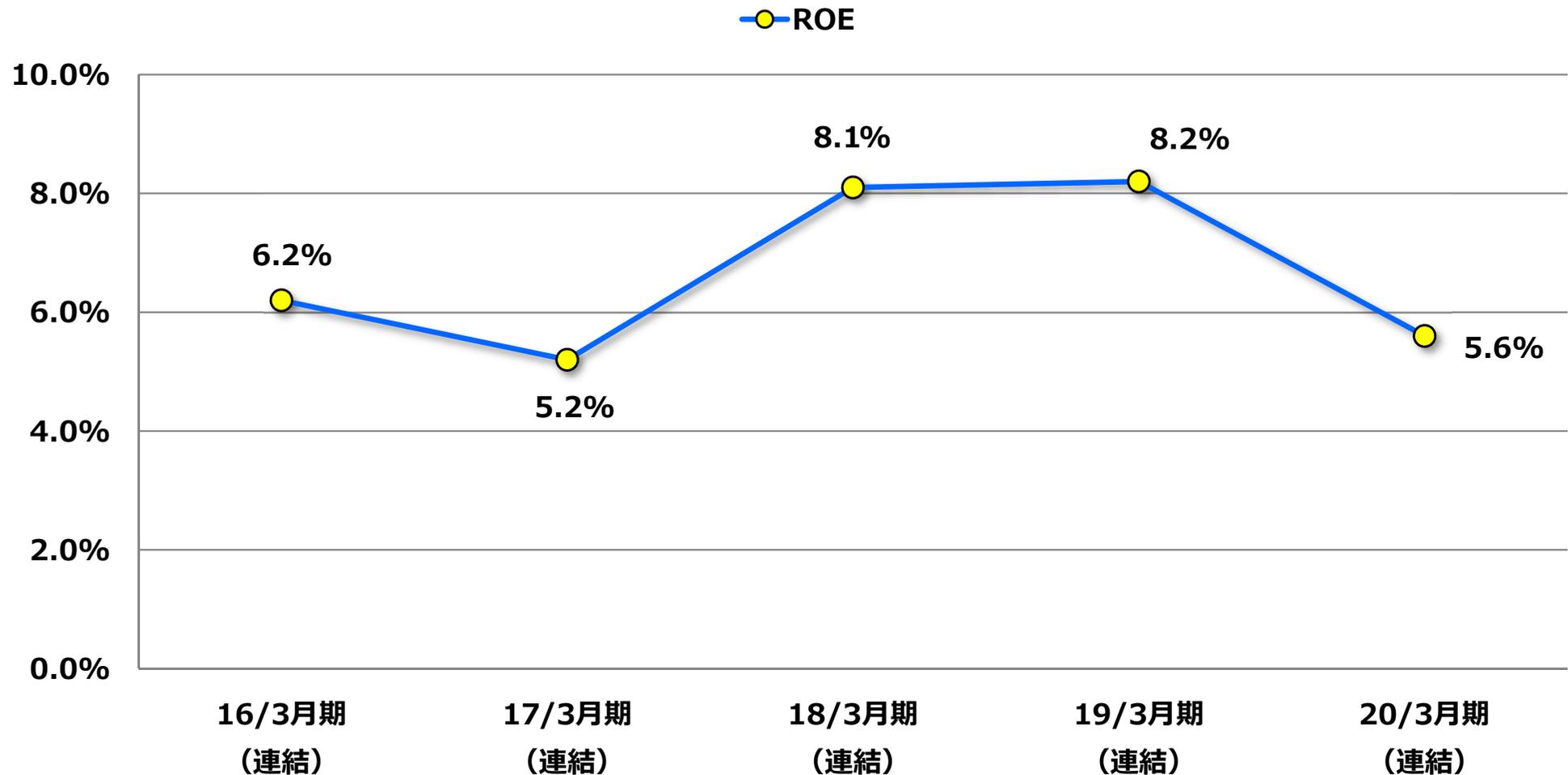
資 本 金： 500,000 U S D

出 資： 株式会社鳥羽洋行 100%

設 立： 2020年6月16日



<ROEの推移>



■ ROEは8.5%以上を目標

この資料には、2020年11月6日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp